

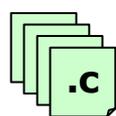
(参考)埋め込みコードによるコードサイズ増加

■ MC/DC計測のための埋め込みコードは 元のコードの数倍の容量になる

- 計測用の埋め込みコードがマイコンのROM容量をオーバーしてしまう場合がある
- 埋め込みコード生成対象のソースを制限して、プロジェクトを管理する必要がある
- CasePlayer2の「埋め込みコードの設定」機能が利用可能
 - CasePlyer2 → [プロジェクトメニュー] → [埋め込みコードビルド環境生成]

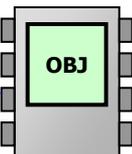
「埋め込みコードの設定」機能を利用した 埋め込みソースの制限による コードサイズの増加抑制

<実コード>

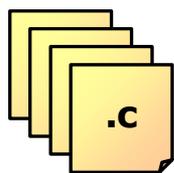


OBJ

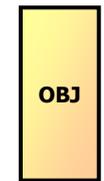
マイコン



<MC/DC計測用 埋め込みコード>



MC/DC計測用のフックコードが埋め込まれる

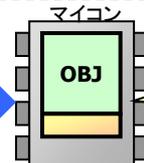
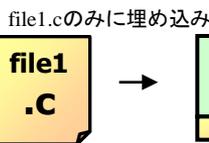
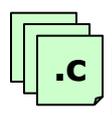


元のコードの数倍の容量

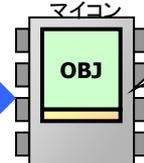
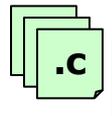
マイコンのROM容量をオーバーしてしまいテストできない



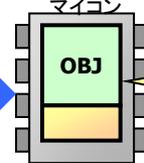
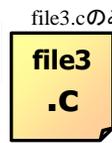
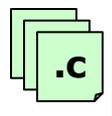
<プロジェクトを分割して 埋め込みコード量を制限>



テスト可能



テスト可能



テスト可能

【開示及び用途制限資料 ガイオ・テクノロジー株式会社】

Copyright © 2006-2013GAIO TECHNOLOGY CO., LTD. ALL RIGHTS RESERVED.